

平成30年度九州史学会大会のご案内

拝啓 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月8日（土）、9日（日）の二日間にわたり、平成30年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようご案内申し上げます。 敬具

九州史学会大会次第

於九州大学

12月8日（土） シンポジウム （午後1時30分より）

会場：九州大学伊都キャンパス イーストゾーン大講義室I

「史的環境としての糸島地域」

趣旨説明

糸島地域ができる前 ―考古学的検討―

大宝二年筑前国嶋郡川辺里戸籍をめぐる諸問題

中世の「糸島」とアジア

近世「糸島」のグローカル性 ―地域・日本・世界への関心―

九州大学 溝口孝司

九州大学 岩永省三

九州大学 坂上康俊

九州大学 伊藤幸司

九州大学 高野信治

懇親会 会場 ビッグスカイ（イーストゾーン食堂）（午後6時より） 会費 3500円（学生 1000円）

12月9日（日） 研究発表

（午前9時より）

＜日本史部会＞（イーストゾーンA-117番教室）＜午前9時開始＞

観世音寺関係文書二題

「豊後若林家文書」の修正翻刻と総合比較

壬辰戦争における佐賀の従軍僧是琢について

近世後期瀬戸内における乙島守屋家文書の研究

監獄のなかの精神病 ―明治33年「精神病患者監護法」前後の言説分析を中心に―

戦間期日本の文化外交と「満蒙文化協会」 ―川村竹治満鉄社長期を中心として―

満州事変と国際連盟外交 ―連盟規約解釈をめぐる攻防―

<建国大学>時代の森克己 ―満洲国における史学研究のあり方―

九州大学 森哲也

名古屋学院大学 鹿毛敏夫

九州大学 顧明源

九州大学 古市志織

九州大学 赤司友徳

九州大学 池田直文

広島修道大学 樋口真魚

九州大学 永島広紀

＜東洋史部会＞（イーストゾーンB-102番教室）＜午前10時開始＞

明初徽州の在地土人層と郷里保全 ―婺源『沱川余氏族譜』を中心に―

明治・大正期の海外修学旅行の記録 ―長崎の商業学徒を中心に―

国民党の戦犯裁判における性暴力の取り扱い

河北狼山の孫氏 ―五代宋初、宋遼境界の自衛集団―

14世紀～17世紀における福建南部社会とその変容

―漳州の「畚」に関する言説をめぐって―

康熙朝『黒図档』からみた盛京地方における旗人の訴訟

18世紀における独日の満洲語研究と国際的知識交流

―ゲルハルト・ミュラーと高橋景保を中心に―

清代嘉慶20年、淮安関・濰縣関における流通経路の指定について

九州大学 飯田和佐

九州大学 坂井華海

九州大学 郝曉陽

福岡大学 山根直生

北海道大学 亀岡敦子

京都大学 王天馳

コロンビア大学 孔令偉

山口大学 滝野正二郎

＜朝鮮学部会＞（ イーストゾーン A-118 番教室 ）＜午前 10 時開始＞

高句麗に対する隋・唐代の「島夷」比喻について
新羅下代・景文王の宗廟祭祀と崇福寺
高麗時代の功臣の運用実態と経済的待遇 —所謂「諸功臣」を中心に—
事元期高麗のケシクと在来近侍機構
15 世紀前半における朝鮮の海防活動の性格
朝鮮初期における太上王文書と国王文書の新事例 —獅子菴賜牌と楡岾寺教書—
植民地朝鮮におけるアナーキズム伝播 —越境する大杉栄—
1934 年朝鮮南部の洪水と復旧活動 —洛東江を中心に—
描かれた異邦人村落苗代川の虚と実 —『薩藩勝景百図』と諸紀行文を中心に—

東京大学 金 辰
京都府立大学 井上直樹
東京大学 ナベシ・スミルノフ
九州大学 森平雅彦
九州大学 李 康郁
新潟大学 川西裕也
九州大学 小野容照
福岡大学 広瀬貞三
元鹿兒島国際大学教授 井上和枝

＜イスラム文明学部会＞（ イーストゾーン A-105 番教室 ）＜午前 10 時開始＞

18 世紀オスマン朝官人が見たフランスとウィーン
—イルミセキズ・チェレビとムスタファ・ハッティの事例—
ユダヤ系トルコ人の「再建」へ —アヴラム・ガランティの歴史叙述より—
第二次立憲政期オスマン帝国における経済教育思想
—教育専門誌の論説の分析を中心に—
オスマン帝国君主のカエサル称号とローマ帝国意識
18 世紀ペルシア湾における交易ネットワークの変容
—オランダ東インド会社のブローカーの事例から—
16 世紀中葉アナトリア南東部におけるディルリク制の運用実態
—トプカプ宮殿博物館附属文書館所蔵の上奏文書を手がかりに—
シャリーフディーン・ジャウワーニーのアレッポ訪問
—12 世紀末のアレッポにおける預言者血統をめぐる一係争とその周辺—

九州大学 山本敬祐
九州大学 岩元恕文
九州大学 勝本英明
九州大学 小笠原弘幸
大東敬典
慶応義塾大学 齋藤久美子
東京大学 森本一夫

＜西洋史部会＞（ イーストゾーン B-101 番教室 ）＜午前 10 時開始＞

中世初期イタリア北部における交易・手工業拠点の「新」集落化
—8 世紀ポー河河口隣接地域におけるコマッキオ (Comacchio) を事例として—
フランス革命とアーカイブズ —近代的文書館の形成と変容—
ナポレオン時代の村会と地方自治
分離主義と自治主義の狭間で —第一次世界大戦直後の
オーバーシュレージエン/グルヌイシロンスクにおける分離主義運動の一考察—
西洋史としての日本史 —「文明国標準」の歴史観—

大分大学 城戸照子
九州大学 岡崎 敦
福岡女子大学 藤原翔太
東京大学 衣笠太朗
九州産業大学 酒井一臣

＜考古学部会＞（ イーストゾーン B-112 番教室 ）＜午前 9 時 30 分開始＞

九州沿岸部における鬼界アカホヤ噴火の影響 —宮崎平野を中心として—
居住痕跡からみた九州縄文後期社会の再評価
縄文時代後・晩期の沖積低地利用 —遺跡立地と出土石器の検討から—
弥生時代前期墓制の検討 —徳島市庄・蔵本遺跡一帯を中心として—
いわゆる青銅製鉦に関する一考察
「城ノ越式」・須玖 I 式・須玖 II 式の上下限
砥石からみた弥生時代の鉄器化と社会変化 —北部九州と近畿の比較—
「墳丘墓」からみた弥生社会の複雑化の実相
古墳時代前期における玉類の伝世：勾玉を中心に
古代九州における造瓦技術の変遷

都城市教育委員会 栗畑光博
九州大学 福永将大
福岡市経済観光文化局 板倉有大
徳島大学 端野晋平
九州大学 田尻義了
九州大学 齋藤瑞穂
新潟大学 森 貴教
京都府教育庁 藤井 整
九州大学 谷澤 亜里
大野城心のふるさと館 主税和賀子

当日は、受付にて、参加費 1500 円（二日間）をお支払い下さい。（学部生は無料です）

※初日のみ、二日目のみのご参加の場合も参加費をいただきます。

※会場周辺には飲食店等が少ないので、二日目の昼食につきましては、各自ご持参いただきますようお願いいたします。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 イースト 1 号館 九州大学文学部九州史学会事務局（西洋史学研究室）

電話 092-802-5091

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~shigakkai/